

学校給食を

福生市民の選択の日

5月15日

無料に

福生市での子どもの貧困対策は急務です！

現在、子どもの6人に一人は「貧困」の中で暮らしています。※

特に、福生市では、「経済的に困難な家庭」として、市から就学援助を受けている小学生は27%、中学生は30%と、多摩26市中で最多です。

安倍政権のもと、実質賃金は下がりつづけ暮らしは大変になるばかりです。今こそ、市政の力をおおいに発揮し、子育てを応援するときではないでしょうか。

※厚生労働省の発表(2012年)によると「子どもの貧困率」(17歳以下)は 16.3%

中学校給食 ついに 実現！

4年前、「中学校給食の実現を！」と市政の転換を訴えたのが西村まさとさんでした。「お弁当がなく昼休みは水だけ飲んでいる子がいる…」などの実態に心を痛み、「せめてお昼ご飯はクラスメートと同じ食事を食べられるように」と、東京で一番最後になっていた中学校給食の実現を求めたのです。

同時に、市民の中でも署名行動など「給食実現を」の運動が広がり、ついに中学校給食が実現することになりました(来年9月から実施)。

今度は給食無料化を！

西村まさとさんは語っています。「中学校給食の実現が最後だっただけに、今度は他市に先駆けてよい給食にしましょう。子育て支援に力を入れてこそ、福生市の未来はひらけます。みなさん、ぜひ一緒に小学校・中学校の給食無料化をすすめましょう！」



西村まさと

「基地のまちから教育・福祉のまちに…みんなの会」副会長
無所属 日本共産党推薦

48才

西村さんはこんな人！

中小企業や個人事業主の方々の相談解決に行政書士として活躍している西村さん。仕事柄、役所の窓口で「市民に冷たい市政」を感じることも「数えきれない」そうです。「市民目線で暮らしを支えるあたたかい市政を」が西村さんのモットーです。

街頭で相談活動を行う西村さん



財政力のある福生市なら十分可能です！

学校給食を無料にするためには、年間1億4千万円程度が必要ですが、平成25年度、26年度と連続で4億5千万円も積み立て金を増やしている福生市の財政力であれば、実現は十分に可能です。無料化すれば給食費を集める費用も削減できます。

福生市積立金

72億円

多摩26市で3番目！

借金(地方債残高)は少ない方から3番目

市民一人あたり積立金現在高

多い順	市名	単位:円
1	武蔵野市	253,241
2	府中市	134,122
3	福生市	115,055

「データから見る福生」(福生市発行、平成26年度版)から作成

基地のまちから教育・福祉のまちに…みんなの会

ニュース 4・5月号外
発行責任者 長田紀彌子 福生市本町
23-1 嘉泉ビル2階 電話 539-1775

ご意見をお聞かせください

539-1775 みんなの会事務所